



◎ PROFILE
いのうえ・けんじ 会社員。月に2回ほど南予まで釣りに行くのが楽しみ。新居にはこだわりの釣り部屋も 大洲市出身
いのうえ・かな 保育士。趣味は旅行。行き当たりばったりの一人旅も好き 香川県出身
いのうえ・りおん お父さんの誕生日には力作をプレゼントするなど 絵を描くことが得意 小2
いのうえ・ひまり 歌って踊るのが大好きで活発な女の子。将来の夢はケーキ屋さん 4歳

家族のきずな Family

友人知人の家族をリレーでつなぎます

井上賢二さん 加奈さん 凜音ちゃん 陽葵ちゃん
(南黒田)

南黒田に住む井上さんファミリー。休日には、必ず4人で買い物や公園に出かける仲良し家族です。

加奈さんが、「お願いしたらすぐ動いてくれる」とたたえる賢二さん。庭の手入れなどを手伝ったり、ストライダーが大好きな陽葵ちゃんと一緒に公園を走り回ったりと家事や育児に積極的です。

釣りが趣味の賢二さんは、クーラーボックスいっぱい魚を釣って帰ることも。結婚するまで魚をさばいたことがなかった加奈さんですが、賢二さんのお母さんに教えてもらって、今では得意料理の刺身やムニエルが子どもたちに好評です。

「ダンスの先生になりたい」と将来の夢を話す凜音ちゃんは、新体操で培った体の柔らかさと持ち前のリズム感の良さでヒップホップダンスを頑張っています。そんなお姉ちゃんの楽しそうな姿を見て、妹の陽葵ちゃんも新体操を始めるなど体を動かすことが大好きな仲良し姉妹です。

今後は、日帰りのバーベキューだけでなく、テントを買ってキャンプに行きたいと話す井上さんファミリー。これからも4人で楽しい思い出をつくっていきます。

次回は、家族ぐるみで仲良しの、熊本忍さんファミリー＝筒井＝をご紹介します。

Boys&Girls, Be

Kids

北伊予小6年・出作 ^{たま い}玉井 ^{さ え}紗衣 さん

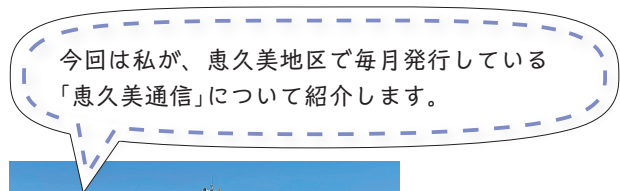
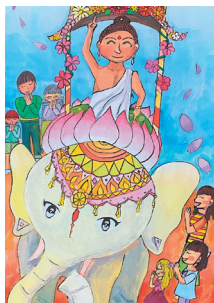
Ambitious! 頑張る子どもを紹介します

「第16回ほとけさまの絵コンクール」で最優秀賞

絵を描くことが大好きな、北伊予小学校6年生の玉井紗衣さん。大阪市で開催された、「第16回ほとけさまの絵コンクール」に出品し、全235作品の中から最優秀賞に選ばれました。

受賞を知って、「お母さんと跳び上がって喜んで、すぐにお父さんに電話した」とほほ笑む紗衣さん。3回目の出品で初めて最優秀賞を受賞したという本作品は、ゾウの頭に乘せた飾りを全部違う色で塗ったり、背景や地面の色の濃さを変えたりするなど、細部にまでこだわって1カ月半かけて完成させました。

細かい物を作ることが好きで、絵だけでなく紙粘土やビーズなどを使った作品にもチャレンジしている紗衣さん。「見てくれた人が楽しくなるような絵を描きたい」と意気込むように、これからもすてきな作品をどんどん生み出し、周りのみんなを笑顔にしてくれることでしょう。



恵久美環境部

山本正司 さん
Yamamoto Masashi

松前の魅力 伝え隊

町民が松前町の魅力を取材します

「いつも読んどるよ!」「続けてな〜」「文中の何段目の何行目のあの文字は間違っとるよ」といった、励ましのお言葉やご指導をエネルギーとして、「頑張らねば!」精神で4年。地区の皆さんに育てられ、今年の6月で第48号を迎えます。

恵久美地区には、「恵久美通信」というコミュニティペーパーがあります。A4サイズ両面一色刷りの、素朴な「おらが地区の瓦版」です。発行の動機は、地域の「安心・安全・豊かで潤いのある生活」を裏方で支えている人たちを取り上げて、「その情報を地域全体で共有することができれば」という思いからでした。例えば、登校時に子どもたちの見守り隊の一員として、最近まで頑張っておられた92歳のご高齢の方、恵久美集会所を何かと気遣ってお世話されているご夫婦、「恵久美ふれあい花壇」を憩いの広場として維持していくために、種取りから植栽、除草、水やり、施肥など、根気のいる作業をしていただいている方々などの活動を掲載しています。また、第20号からはQRコードを載せて、活動の様態を動画で視聴できる工夫もしています。普段当たり前のように写っている光景は、実は裏方さんの地道な活動によって支えられていることを、恵



このコーナーは、広報担当者ではなく町民の皆さんがカメラを持って、松前町の魅力を取材します。取材してくれる人を募集中です。詳しくは、総務課広報広聴係(☎ 985-4132)に連絡を。

久美通信の取材を通して、改めて深く感じさせられました。仕事の合間のライフワークとして始めた恵久美通信ですが、令和4年度からは、恵久美環境部の事業としてアップデートし、新たなスタートを切ることになりました。

人は、共有する何かがあると連帯感が生まれるといいます。「恵久美通信で絆を!」なんて大義は毛頭ないですが、住民の皆さんがちょこつとの時間にちょこつと読める、そしてちょこつと気になる一。そんな「瓦版」でありたいと願っています。さらに、恵久美通信がきっかけで、『向こう三軒両隣』ちょこつと絆の輪が生まれると、編集者としては最高の気分です!



恵久美通信は動画でも発信中



▼編集後記

4月から広報を担当することになりました。初めての一眼レフはとても重くて、体勢が悪かったのか、なぜか首を痛めました。そんな初心者の方が撮った写真を見て喜んでくれたお母さん、堂々と自分の目標を語る高校生、笑顔で入場する新入生。たった1カ月ですが、たくさんの方に出会うことができました。これからもたくさんの方に出会えるよう、頑張りたいと思います。よろしくお願いします。(西尾)

日本代表選手の指導を受けた子どもたちが、いつか日本代表になったら。そんな願いを込めて、今月の特集はホッケーを取り上げました。快く撮影に協力してくれた選手の皆さんは、「初心者にも伝わるようにもっと大げさに!」という私の変なお願いに、さぞ困惑したことでしょう。

早いもので、私が広報担当になって今年で3年目。写真も文章も、まだまだ自信は持てませんが、自分なりの一杯で、広報まさきをお届けしたいと思います。(加藤)

Proud! Japan

※日本代表の撮影は加藤さん